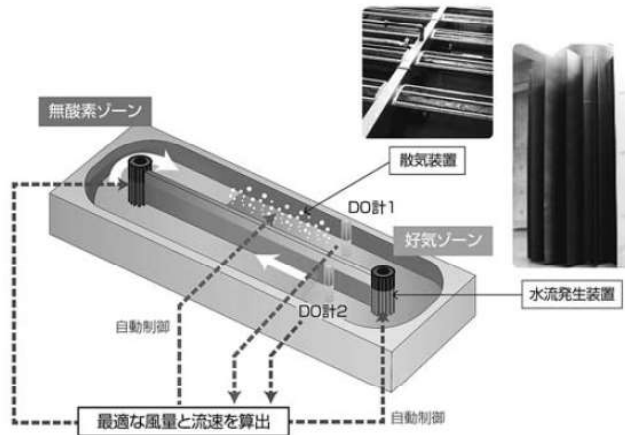


高効率省エネ型OD法

OD法における二点DO制御システム



風量と流速が独立した自動制御を実現

本システムは、高効率で省エネルギーを実現できるOD法の新技术で、一時的な高負荷運転（処理能力増強）が可能なため、柔軟で効率的な建設計画と維持管理コストの縮減が可能です。

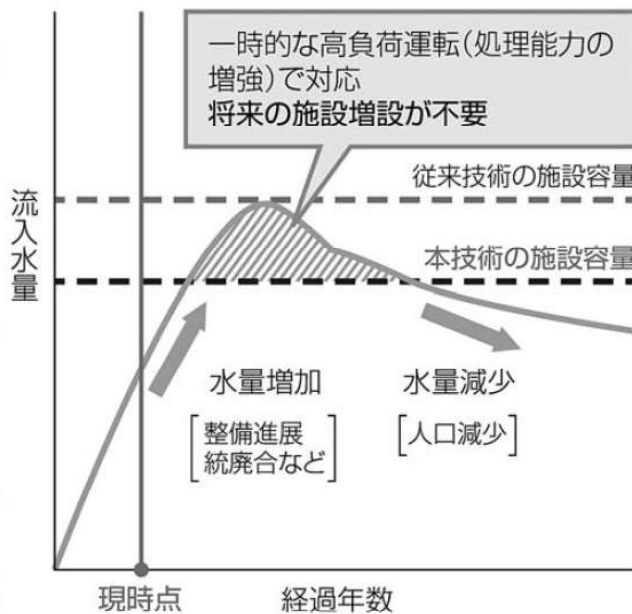
ODO計で自動制御
本システムは縦軸水流発生装置付散気式曝気装置、溶存酸素濃度計（DO計）、送風機と、これらを自動制御するコントロールユニットで構成され、反応タンク内2カ所に設置したDO計を用いて曝気風量と循環流速を

独立して自動制御を行うことで、好気ゾーンと無酸素ゾーンを安定的に形成します。

二点DOの特長
①処理能力の増強が可能
②従来に比べ短いエアレーション時間で安定した処理が可能
③省エネルギー
④省エネ
⑤柔軟な水量変動に対応

安定した処理水質を実現。
○強みを活かせる案件
下水道事業における「広域化・共同化」の一つ「汚水処理施設の統廃合」による一時的な水量増加、人口減少による長期的な流入水量変動に対して柔軟な汚水処理が可能です。施設の建設や維持管理に係るコストを削減でき、人口減少に伴う稼働率低下に有効です。

長期的な水量変動



尿受入による負荷増の対応▽処理場の更新・再構築▽高度処理の導入

○野市浄化センター稼働中
平成20年度より産官学プロジェクトとして共同研究を開始した香南市野

⑤平成27年度「流域別下水道整備総合計画調査指針と解説 参考資料」に掲載

⑥下水道設計指針と解説「2019年度」に掲載

平成27年度 国土交通省「下水道設計指針と解説」に掲載

平成27年度 国土交通省「下水道設計指針と解説」に掲載

- 通省「循環のみち下水道賞」グランプリ受賞
- ②平成28年度 日本水環境学会「技術省」受賞
- ③令和元年 STI for SDGsアワード「優秀賞」受賞
- ④平成26年度 日本下水道事業団 新技術I類選定